

社会民主主義 フォーラム

全国 通信

No. 33

2022年
9月30日

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-6-9

DIK麹町ビル704号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

統一自治体選へ始動 各県で政治セミナー開かれる 対決点を明確に臨時国会での追及と論戦を

10月3日から臨時国会が開かれます。当初、官邸、与党、省庁の怠慢で日程の提案さえ行われませんでした。これに輪をかけて旧統一教会をめぐる細田衆院議長の疑惑です。しっかりとした追及と論戦が求められます。

自治体選での党勢拡大を決意一宮崎



社民フォーラムみやざきは、9月25日宮崎市内で、吉田ただとも代表を講師として招き、約40名の参加を得て学習会

を開催しました。フォーラムは結成以来、社会民主主義運動の継承を目標としながらも、2回の国政選挙などたたかひの連続で、各メンバーが労組や立憲民主党の主要な任務を担っていることから、学習会は初の取り組みとなりました。

吉田代表は、国会情勢の報告とフォーラムの役割を訴え、立憲民主党が働く者とともに発展する必要性と、求心力を高めていく必要性を訴えました。参加者からは「立憲の組織機構が選挙区ごとであることや、議員ごとであることは課題だ。」などの意見が出されました。

フォーラムみやざきの岩切達哉代表は、「統一自治体選挙にひとりでも多く出したい。県内市町村のすべてに議席を。そして各議会で多数を得ていくことを最大の目標として取り組んでいく。」と訴え、各地域での学習運動の展開を提起しました。

組織基盤の強化を担おう一茨城

社民フォーラム茨城は9月24日、水戸市内で政治セミナーを開き52人が参加しました。石松俊雄代表（笠間市議）は、「立憲の組織基盤の弱さを補う私たちの活動強化と労組との連携強化、社民主義の立場から学習・交流を進め、地域や職場から党活動を担っていこう」と挨拶。

その後、社民フォーラム副代表の吉川はじめ衆議院議員から講演を受けました。統一教会、国葬、オリンピック汚職など政治スキャンダルの中で、国会内の共闘体制構築の重要性や憲法改正問題をめぐる立憲の立ち位置、地域に根差した党活動、社民フォーラムへの結集の重要性などを強調しました。

質疑では、「防衛費増大」、「維新の会との国会共闘や新自由主義に対するスタンス」、「物価高、円安、自然災害などへの緊急対応と食糧自給率向上に向けた政策実現」、「暮らせる農業への政策転換」など4人が質問や意見を述べました。

最後に、石松（笠間）、菅谷（鹿嶋）の両市議から自治体選挙に向けた決意表明を受けました。



国葬絶対反対!!

9月27日、「安倍元首相『国葬』反対！9.27国会正門前大行動」が開催され、1万5千人が参加しました。国葬の法的根拠、国会（国民）無視、税金の無駄使い、弔意の強制、安倍政治の評価など様々な観点から、国葬は直ちに中止すべきとの怒りの声が相次ぎました。立憲民主党の近藤昭一衆議院議員は「国葬反対の意思は、弱者をかえりみない現在の政治を決して許さないということであり、日本の民主主義を取り戻そうという意思だ」と強くアピールしました。

統一教会問題で緊急講演 地方で被害者救済の仕組み整備を！

9月24日午後、立憲民主党富山県総支部連合会は富山市内で、「統一教会と政治」をテーマに「緊急講演」を開催しました。急な企画にもかかわらず、ネットで告知が拡散され、一般市民ら約130人の参加がありました。長年にわたり、統一教会の高額献金や靈感商法の問題を追及してきたジャーナリストで、元立憲民主党参議院議員、有田芳生氏が講師を務めました。



●統一教会は韓国で結成当初から、合同結婚式などで女性の人権を蹂躪してきました。非人道的な統一教会は、政教一致国家を樹立しようとの特異教義を実現するため、富山県を含めて、国会議員や地方議員に接近していきました。その際、当時の政治情勢を反映して「国際勝共連合」を結成し、「勝共」を方便として、自民党との関係を一層と深めていきました。

●また、統一教会は組織全体として、様々な関連団体を作って活動しており、実態は分かりにくく、政治とのかかわりはごく一側面に過ぎません。各地で性教育、選択的夫婦別姓、男女共同参画などの案件に深く入り込んでい



るので、地域で起きていることに興味を持つことが必要です。

●統一教会の体質は基本的には何も変わっていません。今後、宗教法人格のはく奪の議論が出てくるでしょう。しかし、団体も教義も残るので、信者は献金し続けなければならない、問題が根本的に解決されるわけではありません。特に、両親が信者である信仰2世の子ども約1000人近くが何の罪もないのに、社会から見えないところで、ものすごく苦しんでいます。彼ら

に手を差し伸べなければなりません。

●オウム事件を振り返っても明らかなように、国に期待しても何もしてくれません。だから、富山県も最初の一步を踏み出して、国に頼らず、被害者救済の仕組みを作ってもらいたいと思います。

講演終了後、会場で有田氏の最新書籍『改訂新版 統一教会とは何か』が販売され、有田氏が一冊ずつ自らサインしました。党富山県総支部連合会は、今後も、市民と党がつながるきっかけをつくるため、講演会などを企画していきたいと考えています。

安倍国葬反対集会に参加 —立憲民主党の旗をしっかりと掲げよう—

9月19日午後代々木公園で開催された「安倍国葬・改憲軍拡反対、さよなら戦争・原発首都圏大集会」に立憲民主党旗を持って参加しました。

集会が始まってしばらくすると、私よりはるかに若いサングラス姿の女性が「立憲民主党の旗があつて良かった。一緒にいて良いですか」と近づいてきました。北海道出身のこの女性は「立憲民主党は、もっと主張をはっきりさせて、こういう集会に本部が率先して来なきゃ」と話し、最後まで一緒にデモ行進しました。



私はこれまで集会に党旗がまったくないのは問題だと思っており、今年5月の憲法集会から必ず党旗を持って参加するようにしています。今のところ旗を持っていくのは私一人ですが、毎回見知らぬ人から党への期待や中央への失望の声を掛けられます。労働者・市民が集まる場所に、自公政権と対峙する野党第一党の旗がないのでは大衆に信頼されません。これからは、社民フォーラム以外の区議会議員や党員にも集会への参加を呼びかけようと考えています。（東京メルマガより抜粋）

防衛政策の転換と私たちの課題

半田滋さん（防衛ジャーナリスト、元東京新聞論説兼編集委員）を講師に招き、秋期第1回政治セミナーを行います。ぜひご参加ください。対面とWebの併用で行います。

日時：10月25日（火）午後6時から

会場：衆議院第2議員会館 第4会議室（地下1階）

